

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中川製袋化工株式会社 大竹工場

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市港町1丁目5-1

(3) 業種

1821 プラスチックフィルム製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度(2013年度)を基準年度とし、令和6年度(2024年度)から令和9年度(2027年度)までの4年間とする。

3 計画の基本的な方向

1.基本的な考え方

・将来的に環境面を重視した製品(新製品等)の開発を引続き推進し、または現行品(ポリエチレン製品等)においても、環境問題である地球温暖化の防止の為、日々研究を続ける所存です。

2.方針

- ・CO2削減の為の省エネルギー対策及び計画実行並びに評価・検証。
- ・CO2削減の為の省エネルギーに関する改善提案の推進。
- ・環境を考慮した新製品等の開発の推進。
- ・省エネルギーに対する現場作業員・担当者の環境教育・意識高揚(研修会等の参加)

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ 25 ）年度	令和（ 5 ）年度
二酸化炭素	6,862	3,246

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (25) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 (9) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	6,862	14.0	961	5,901
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	6,862	14.0	961	5,901
温室効果ガス みなし排出量		—		5,901
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年1.0%の削減率			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量(kg等)、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (25) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (9) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
非エネルギー起源CO ₂				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—	2,329.00	14.0	—	—	2,003.00
目標設定の考え方	エネルギー消費原単位(原油)として原単位ベース年1%の削減率						

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギー原単位の削減	原単位・年1%以上の削減	省エネタイプの機器導入検討
2			製造・生産効率の改善
3			LED照明等の採用・切替
4			その他、省エネに関する情報収集等

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ ~~温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）~~

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	照明器具のLED化	原単位及び温暖効果ガス抑制 (原単位1%削減目標)	継続中
2	省エネ生産機器導入	上記同様	継続中
3	太陽光パネル導入検討	上記同様	検討中

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制

別紙：省エネルギー推進管理組織図参照。

- ・CO2削減・省エネルギー対策及び計画実行と評価。
- ・CO2削減・省エネルギー管理規定の点検・見直し。
- ・CO2削減・省エネルギーに関する改善提案の検討及び実行。
- ・各担当者の教育・意識高揚(研修会の参加)
- ・その他、CO2削減・省エネルギーに関する全般事項。

(2) 実施状況の点検・評価

技術管理課を中心に、温室効果ガス削減について連絡会議を定期的に行き、点検・評価を継続的に推進する。

(3) 計画書等の公表

事業所内の事務室応接室内に、計画書や提出した状況報告書を常時閲覧出来るよう体制を作り、将来的にはホームページに掲載をしていく予定。

工場付近図

所在地 広島県大竹市港町1丁目5番1号

工場名 中川製袋化工株式会社 大竹工場



省エネルギー推進管理組織

